

Bridge Report セプテーニ・ホールディングス(4293)

 佐藤 光紀 社長	会社名	(株)セプテーニ・ホールディングス	
	証券コード	4293	
	市場	JASDAQ	
	業種	サービス業	
	社長	佐藤 光紀	
	所在地	東京都新宿区西新宿8丁目17番1号 住友不動産新宿グランドタワー28F	
	事業内容	ネット広告代理、販促支援やコンテンツ配信展開する子会社群が傘下に。ヤフーが資本参加。	
	決算月	9月	
	HP	http://www.septeni-holdings.co.jp/	

－ 株式情報 －

株価	発行済株式数(自己株式を控除)	時価総額	ROE(実)	売買単位	
153,700円	126,046株	19,373百万円	10.9%	1株	
DPS(予)	配当利回り(予)	EPS(予)	PER(予)	BPS(実)	PBR(実)
1,400.00円	0.9%	9,444.52円	16.3倍	51,369.52円	3.0倍

*株価は8/23終値。発行済株式数は直近四半期末の発行済株式数から自己株式を控除。ROE、BPSは前期末実績。

－ 連結業績推移 －

(単位:百万円、円)

決算期	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	EPS	配当
2009年9月(実)	33,046	598	421	-585	-	900.00
2010年9月(実)	32,648	1,098	1,024	545	4,333.90	1,000.00
2011年9月(実)	34,632	928	980	429	3,411.04	1,000.00
2012年9月(実)	41,358	1,527	1,638	677	5,381.15	1,000.00
2013年9月(予)	45,810	1,574	1,712	1,190	9,444.52	1,400.00

*予想は会社予想。

セプテーニ・ホールディングスの2013年9月期第3四半期決算について、ブリッジレポートにてご報告致します。

1. 会社概要
2. 2013年9月期第3四半期決算
3. 2013年9月期業績予想
4. 今後の注目点

今回のポイント

・13/9 期 3Q(4-6 月)は前年同期比 11.4%の増収、同 4.2%の営業増益。ネットマーケティング事業が増収・増益をけん引。インターネット広告市場の拡大を背景に、Facebook 関連やスマートフォン向け広告など高成長分野の取り込みが順調に進み、業容拡大のみならず収益性も向上した。3Q 累計では、前年同期比 10.1%の増収、同 7.0%の営業減益。営業減益幅は2Q 累計時点よりも縮小。

・新規事業として、マンガコンテンツ事業を立ち上げた。当事業では「マンガ」を中心とした自社IPの企画・開発を念頭に、マンガ家の育成・輩出、専門サイトの運営等を手掛けていく。事業の運営主体は 100%子会社のコミックスアート(株)で、(株)セプテーニ・ホールディングスの佐藤社長が事業責任者(社長)を兼務する。

・通期予想は前期比 10.8%の増収、同 3.0%の営業増益。配当は 1 株当たり 400 円増配の期末 1,400 円を予定。2013 年 9 月 30 日を基準日として(効力発生日:10 月 1 日)、普通株式 1 株を 200 株に分割し、100 株を 1 単元とする単元株制度に移行する。これにより、投資単位の金額は実質的に現在の 2 分の 1 になる。

1. 会社概要

ネット広告代理店で業界トップクラスの(株)セプテーニや、携帯電話向けコンテンツ配信を行うアクセルマーク(株)(3624)等の、連結子会社を中心に約 20 社でグループを形成。インターネット広告代理事業の強化を図りつつ、成長分野への積極投資を通じて自社サービス中心の収益モデルへの転換を進めている。

純粋持株会社	(株)セプテーニ・ホールディングス	(13年8月1日現在)	
ネットマーケティング事業		トライコーン(株)	CRM サービス
(株)セプテーニ	インターネット広告	(株)トリガー	ソーシャルリサーチ
MANGO(株)	SEMオペレーション	メディアコンテンツ事業	
(株)Vasara	インターネット広告	アクセルマーク(株)	モバイルコンテンツ
(株)ハイスコア	ソーシャルメディア等	サイテック(株)	ソーシャルアプリ開発
(株)イーグルアイ	アドネットワーク	コミックスアート(株)	マンガコンテンツ
Septeni Asia Pacific Pte. Ltd.	亜・太平洋地域でのインターネット広告	その他	
Septeni America Inc.	北米地域でのネットマーケティング	(株)セプテーニ・ダイレクトマーケティング	DM 事業
SEPTENI TECHNOLOGY CO., LTD	ウェブサービスの開発等	新規事業開発	
(株)セプテーニ・クロスゲート	アフィリエイトネットワーク	(株)セプテーニ・ベンチャーズ	
(株)エイエスピー	eマーケティングソリューション		

【事業内容】

事業は、ネットマーケティング事業、メディアコンテンツ事業、及びダイレクトメール発送代行、インシップ広告等のその他(報告セグメントに含まれない)に分かれ、12/9 期の売上構成比は、それぞれ 81.1%、10.5%、8.4%(連結調整前の営業利益ベースでは、78.5%、12.8%、8.7%)。

ネットマーケティング事業

インターネットを活用した包括的なマーケティング支援サービスを展開している。具体的には、インターネット広告の販売やウェブソリューション(サイト構築・運用・集客、SEO 等)を二本柱とするインターネット広告代理事業を収益基盤としつつ、アドネットワーク等のマーケティングプラットフォームやクラウド型 CRM サービスといった自社が運営主体となるサービスを育成中である。

メディアコンテンツ事業

モバイル(スマートフォンや従来型携帯電話)向けソーシャルゲームを中心に、音楽、書籍、動画、占い等のデジタルコンテンツの企画・開発を手掛けている。開発したコンテンツは SNS や携帯通信キャリア等のプラットフォームを通じて消費者に提供しており、ソーシャルゲームはアクセルマーク(株)が主に Mobage に、サイテック(株)が GREE に、それぞれ提供している。

2. 2013年9月期第3四半期決算

(1) 第3四半期(4-6月)連結業績

(単位:百万円)

	12/9期 3Q(4-6月)	構成比	13/9期 3Q(4-6月)	構成比	前年同期比	2Q時予想	予想比
売上高	10,365	100.0%	11,552	100.0%	+11.4%	11,500	+0.5%
売上総利益	2,176	21.0%	2,178	18.9%	+0.1%	-	-
販管費	1,865	18.0%	1,854	16.0%	-0.6%	-	-
営業利益	310	3.0%	323	2.8%	+4.2%	290	+11.7%
経常利益	324	3.1%	342	3.0%	+5.6%	300	+14.3%
四半期純利益	173	1.7%	174	1.5%	+0.5%	170	+2.4%

ネットマーケティング事業が伸び、メディアコンテンツ事業の先行投資負担を吸収

売上高は前年同期比11.4%増の115億52百万円。ソーシャルゲーム事業が新タイトル投入の谷間となりメディアコンテンツ事業の売上が8億89百万円と同18.5%減少した他、第1四半期にコマース事業から徹底した影響もあったが、主力のネットマーケティング事業はインターネット広告市場の拡大とFacebook関連やスマートフォン向け広告といった成長分野の取り込みで売上が同19.4%増の99億80百万円と大幅に伸びた。

利益面では、メディアコンテンツ事業が売上の減少に加え新たに立ち上げたマンガコンテンツ事業を含む新規事業への先行投資負担(47百万円の損失計上)等で60百万円の営業損失となったものの、ネットマーケティング事業の利益が増収効果で4億43百万円と同63.7%増加(この他に、その他の利益41百万円、調整額△1億01百万円)。営業利益は3億23百万円と同4.2%増加し、予想を上回る着地となった。

尚、販管費は、コマース事業からの撤退の影響で前年同期との比較では0.6%の減少だが、4月にグループ全体で85名の新入社員が入社したため、第2四半期(1-3月)との比較では1億31百万円の増加。

四半期業績の推移

(単位:百万円)

	12/9-1Q	2Q	3Q	4Q	13/9-1Q	2Q	3Q	前年同期比	前四半期比
売上高	9,710	10,803	10,365	10,478	10,891	11,566	11,552	+11.4%	-0.1%
売上総利益	2,006	2,221	2,176	2,228	2,178	2,202	2,178	+0.1%	-1.1%
販管費	1,640	1,722	1,865	1,877	1,887	1,722	1,854	-0.6%	+7.7%
営業利益	366	498	310	351	290	479	323	+4.2%	-32.5%
売上総利益率	20.7%	20.6%	21.0%	21.3%	20.0%	19.0%	18.9%	-2.1p	-0.2p
販管費率	16.9%	15.9%	18.0%	17.9%	17.3%	14.9%	16.0%	-1.9p	+1.2p

(2) セグメント別動向

ネットマーケティング事業

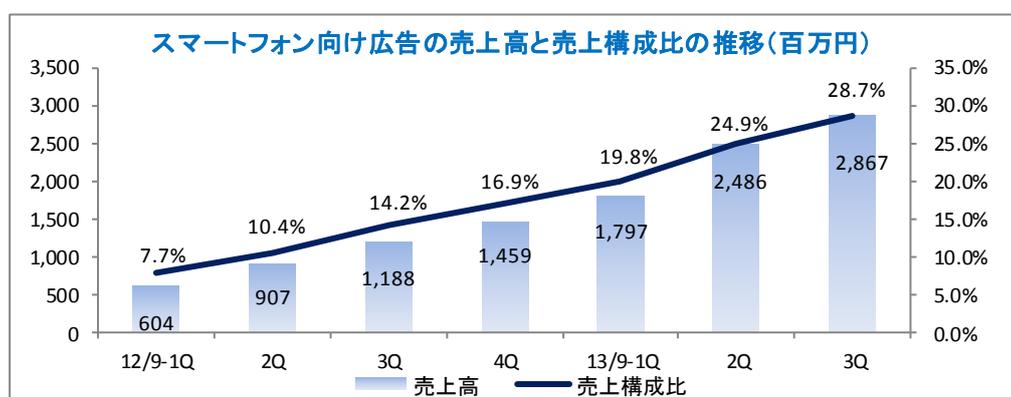
(単位:百万円)

	12/9-1Q	2Q	3Q	4Q	13/9-1Q	2Q	3Q	前年同期比	前四半期比
売上高	7,872	8,735	8,355	8,636	9,066	9,970	9,980	+19.4%	+0.1%
売上総利益	1,347	1,491	1,427	1,555	1,589	1,718	1,715	+20.2%	-0.2%
販管費	1,054	1,092	1,156	1,122	1,165	1,150	1,271	+10.0%	+10.6%
営業利益	293	399	270	432	423	567	443	+63.7%	-21.9%
売上総利益率	17.1%	17.1%	17.1%	18.0%	17.5%	17.2%	17.2%	+0.1p	-0.0p
販管費率	13.4%	12.5%	13.8%	13.0%	12.9%	11.5%	12.7%	-1.2p	+1.2p

売上高は99億80百万円。最繁忙期となる第2四半期の売上高をわずかに上回り、四半期ベースで過去最高を更新。注力分野であるFacebook関連が前年同期比約3.4倍に拡大した他、スマートフォン向け広告の売上も同約2.4倍に拡大した。

営業利益は4億43百万円。新入社員(約60名)の入社に伴う販管費の増加で、前四半期比では21.9%減少したものの、前年同期比

では増収効果で同 63.7%の増益。



メディアコンテンツ事業

(単位:百万円)

	12/9-1Q	2Q	3Q	4Q	13/9-1Q	2Q	3Q	前年同期比	前四半期比
売上高	1,015	1,138	1,092	1,088	940	894	889	-18.5%	-0.5%
売上総利益	432	486	504	468	371	387	363	-28.0%	-6.2%
販管費	334	368	449	512	478	422	423	-5.8%	+0.4%
営業利益	98	118	55	-44	-107	-34	-60	-	-
売上総利益率	42.5%	42.7%	46.2%	43.0%	39.5%	43.3%	40.8%	-5.4p	-2.5p
販管費率	32.9%	32.3%	41.1%	47.1%	50.9%	47.2%	47.6%	+6.4p	+0.4p

売上高は8億89百万円。ソーシャルゲームにおいて、2タイトルを投入(うち自社オリジナルは1タイトル)する一方、既存3タイトルをクローズした。損益面では、売上の減少に加え、新たに立ち上げたマンガコンテンツ事業を含む新規事業にかかる先行投資が47百万円の損益悪化要因となった。収益が改善傾向にある子会社アクセルマーク(株)は前四半期比で増収・増益。

ソーシャルゲーム売上高とオリジナルタイトルの投入数

	12/9-1Q	2Q	3Q	4Q	13/9-1Q	2Q	3Q	累計タイトル数
売上高(百万円)	350	563	593	639	519	487	455	-
投入タイトル数	3	1	2	2	3	4	1	16
うちアクセルマーク(株)	2	1	1	1	2	2	1	10
うちサイテック(株)	1	0	1	1	1	2	0	6

第4四半期は、アクセルマーク(株)が大型IPタイトル「ビックリマンコレクターズバトル」と初のネイティブアプリ「反逆のシエルアーク」のリリースを予定している。ブラウザゲームの「ビックリマンコレクターズバトル」は Mobage から9月中にリリースする予定で、現在、事前登録を受付中である。

マンガコンテンツ事業を開始

第3四半期にマンガコンテンツ事業を立ち上げた。当事業では「マンガ」を中心とした自社IPの企画・開発を念頭に、マンガ家の育成・輩出、専門サイトの運営等を手掛けていく。事業の運営主体は100%子会社のコミックスマート(株)で、(株)セプテーニ・ホールディングスの佐藤社長が事業責任者(社長)を兼務する。

マンガの家育成・支援では、(株)セプテーニ・ホールディングスのオフィス内に設置した専用スタジオを提供する等、マンガ家の創作活動を全面的に支援。また、マンガ配信プラットフォームとして、作家数5,000人以上、会員数約92万人の投稿マンガ配信プラットフォーム「マンガ★ゲット」をスパイシーソフト(株)より譲受した。

(2) 第3四半期(累計)連結業績

(単位:百万円)

	12/9期 3Q(累計)	構成比	13/9期 3Q(累計)	構成比	前年同期比	2Q時予想	予想比
売上高	30,879	100.0%	34,010	100.0%	+10.1%	33,958	+0.2%
売上総利益	6,404	20.7%	6,558	19.3%	+2.4%	-	-
販管費	5,228	16.9%	5,464	16.1%	+4.5%	-	-
営業利益	1,175	3.8%	1,094	3.2%	-7.0%	1,060	+3.2%
経常利益	1,255	4.1%	1,222	3.6%	-2.6%	1,180	+3.6%
四半期純利益	443	1.4%	910	2.7%	+105.4%	906	+0.4%

ネットマーケティング事業をけん引役に売上高及び営業利益以下の各利益が予想を上回った。また、Facebook 関連やスマートフォン向け広告など高成長分野の拡大による増収効果等により、ネットマーケティング事業の営業利益率が改善した(3.9%→5.0%)。尚、四半期純利益が大幅に増加したのは、第2四半期に子会社株式売却益(1億03百万円)や投資有価証券売却益(2億09百万円)など特別利益3億13百万円を計上したため。

セグメント別売上高・利益

(単位:百万円)

	12/9期 3Q(累計)	構成比	13/9期 3Q(累計)	構成比	前年同期比
ネットマーケティング	24,935	80.8%	28,963	85.2%	+16.2%
メディアコンテンツ	3,244	10.5%	2,723	8.0%	-16.1%
その他	2,698	8.7%	2,322	6.8%	-14.0%
調整額	0	-	0	-	-
連結売上高	30,879	-	34,010	-	+10.1%
ネットマーケティング	963	70.7%	1,435	105.7%	+48.9%
メディアコンテンツ	271	20.0%	-202	-14.9%	-
その他	126	9.3%	125	9.2%	-0.9%
調整額	-186	-	-264	-	-
連結営業利益	1,175	-	1,094	-	-7.0%

3. 2013年9月期業績予想

通期連結業績

(単位:百万円)

	12/9期	構成比	13/9期	構成比	前期比
売上高	41,358	100.0%	45,810	100.0%	+10.8%
営業利益	1,527	3.7%	1,574	3.4%	+3.0%
経常利益	1,638	4.0%	1,712	3.7%	+4.5%
当期純利益	677	1.6%	1,190	2.6%	+75.7%

前期比10.8%の増収、同3.0%の営業増益予想

第4四半期(7-9月)もネットマーケティング事業が好調を維持する見込み。一方、ソーシャルゲームの新タイトルが寄与するメディアコンテンツ事業は、前四半期比で売上高が増加し、赤字幅が縮小する。配当は1株当たり400円増配の期末1,400円を予定。

第4四半期(7-9月)連結業績

(単位:百万円)

	12/9期	4Q(7-9月)実績	構成比	13/9期	4Q(7-9月)予想	構成比	前年同期比
売上高		10,478	100.0%		11,800	100.0%	+12.6%
営業利益		351	3.3%		480	4.1%	+36.4%
経常利益		382	3.6%		490	4.2%	+28.2%
四半期純利益		233	2.2%		280	2.4%	+19.7%

【株式分割と単元株制度の採用】

2013年9月30日を基準日として(効力発生日:10月1日)、普通株式1株を200株に分割すると共に、100株を1単元とする単元株制度に移行する。これにより、投資単位の金額は実質的に現在の2分の1になる。

4. 今後の注目点

主力のネットマーケティング事業は、Facebook 関連やスマートフォン向け広告といった注力分野が順調で、売上の増加だけでなく収益性の改善にもつながっており、今後も安定的な成長が期待できそうだ。一方、メディアコンテンツ事業の中心であるソーシャルゲーム事業については、第3四半期のリリースタイトルが少なかったこともあり、まだ成長の踊り場を脱しきれていない模様だ。当面は第4四半期にリリース予定の大型IPタイトルとネイティブアプリの成否がポイントであろう。自社IPの開発を目指すマンガコンテンツ事業の育成と共に、将来の収益の柱となる可能性を秘めているメディアコンテンツ事業の今後の展開に注目していきたい。

本レポートは情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を意図するものではありません。また、本レポートに記載されている情報及び見解は当社が公表されたデータに基づいて作成したものです。本レポートに掲載された情報は、当社が信頼できると判断した情報源から入手したのですが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。当該情報や見解の正確性、完全性もしくは妥当性についても保証するものではなく、また責任を負うものではありません。本レポートに関する一切の権利は(株)インベストメントブリッジにあり、本レポートの内容等につきましては今後予告無く変更される場合があります。投資にあたっての決定は、ご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。

Copyright(C) 2013 Investment Bridge Co.,Ltd. All Rights Reserved.

ブリッジレポート(セプテーニ・ホールディングス:4293)のバックナンバー及びブリッジサロン(IRセミナー)の内容は、www.bridge-salon.jp/ でご覧になれます。